



彦根の小中学校 4000枚のチラシと署名用紙

8月末から、「彦根・愛知・犬上の高校を守る会」は、小中学校の保護者に向けて運動を開始。8月29日から9月2日、彦根市内の5つの中学校と、13の小学校に4,000枚のチラシと署名を封筒に入れて配布しました。全教彦根教組の提起に高教組や地域の人たちが合流しました。3つの方法で、一気に5,000筆の署名を集める構えです。1つは、PTAまたはPTAの有志として署名用紙を配布する。2つは、「彦愛犬の高校を守る会」が校門前で署名を配布する。3つは、職場の教職員が署名を配布する。

「お姉ちゃんが彦根東の定時制にいったのに...」

「おい知ってるか、西高がなくなるって」

旭森小学校の校門前では、ある小学生が「お姉ちゃんが彦根東の定時制に行き喜んでいたら、なくなるの」と不安な気持ちを隠しません。

稲枝中学の校門前では、生徒同士が会話。「おい知ってるか、西高がなくなるって、大変やで。」

城東小学校では、「募金をしてもいいの？」と言ってくる小学生もいました。

平田小学校の校門前で、生徒に封筒を配っていると、地域の人が「西高は自分の母校だ。もう署名はしたが、がんばってくれ」と、わざわざ励ましに。

「おうちの人に渡してね」と言うと、どの学校でも、ほぼ全員の児童生徒が封筒を受け取ります。どの学校でも、用意した封筒がまたたく間になくなりました。

小学生、中学生も、統廃合計画案の事実をある程度知っています。運動が広がり、新聞やテレビでも報道されるようになり、家庭や



地域で、統廃合問題が話題になり関心事になっていることが伺われます。

彦根市の校長会が異例の要請 原案の再検討を

こうした動きと相まって、8月31日、彦根市の小中学校の校長会が「県立高校再編計画(原案)に対して心配されることについて」という要請を、県の中学校長会に行っています。そこでは、特に心配な点を3つあげています。

彦根西と彦根翔陽は長い歴史を重ね、特色ある教育がなされている。統合案では、生徒の希望を奪い、進路選択や高校選択の幅を狭める。彦根市では、生徒数は増加する。統合案では、市内の生徒が市外の高校または私立の高校に多く進学せざるを得なくなる。

彦根西高校、彦根翔陽高校、能登川高校を希望する生徒(現3年生)に、高校入学後の2、3年次の学校組織や行事、カリキュラムの説明を行い、納得をした上で進学を希望する必要がある。

彦根東高校、彦根工業高校、長浜北星の定時制廃止で、選択幅が狭まり、経済的、時間的負担が増大する。課題を抱えた生徒の学び直しの機会、学習の場が狭められる。

そして、「彦根市小中校長会として、原案の再検討を含めて、関係機関に働きかけてくださるようお願いいたします」と締めくくっています。彦根市の校長会がこの種の要請をするのは異例、教育者としての良識を示したものです。

ストップ高校統廃合速報 2011年度第18号

2011/9/5 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)